

平成 27 年 9 月 1 日

中央労働災害防止協会
総務部長 辻田 博
【照会先】
総務部 上席専門役 間宮 直樹
(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225
E-mail koho@jisha.or.jp

全国労働衛生週間がはじまる

— ストレスチェック・腰痛・化学物質管理など 求められる企業の取組み— (平成 27 年 10 月 1~7 日)

全国労働衛生週間は、働く人の健康管理や職場環境の改善、また職場の自主的な労働衛生管理活動の促進を通じた労働衛生の意識の高揚を図るため、10月1日から1週間にわたって展開されます。

○ わが国の業務上疾病の現状

全国労働衛生週間は、昭和 25 年から毎年実施され、今年で第 66 回を迎えます。

その間、わが国の労働衛生水準は着実に向上し、業務上疾病者数は長期的には減少してきているものの、昨年は 7,415 人と前年より 105 人増加しています。

また、一般的健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合は増加傾向に歯止めがかからず、昨年は 53.2%にのぼりました。

疾病別では負傷に起因する腰痛、または負傷によらない腰痛が合わせて 186 人増加して 4,624 人となり、休業 4 日以上職業性疾病の 6 割を占め、業種別には腰痛発生件数が大幅に増加した社会福祉施設が最も多く、製造業、商業でも増加しています。

○ ストレスチェックで取組むメンタルヘルスの課題

わが国の自殺者数はここ数年減少傾向にあるものの依然として高い水準にあり、昨年は約 2,200 人が勤務問題を原因・動機の一つとして自殺しています。

また、業務上のストレスなどで発症した精神障害の労働災害請求件数も増え続け、さらに過労死等が多発し大きな社会問題になっているなど、職場におけるメンタルヘルス対策や過重労働による健康障害防止対策は、多くの企業が抱える労働衛生上の共通の課題となっています。

こうした状況を背景に、昨年労働安全衛生法が改正され、本年 12 月 1 日から従業員 50 人以上の事業場にストレスチェックが義務付けられました。

同法施行まで 3 ヶ月をきった中、各企業の準備が急がれています。

こうした企業のメンタルヘルス対策を支援するため、「中災防ヘルスアドバイスサービス」では、ストレスチェック、関連研修会、講師派遣等を実施しています。

また、中災防「ストレスチェック相談室」では、ストレスチェック制度の効果的な運用を図るため、企業が準備しておくことの概要を以下のようにまとめています。

【ストレスチェック制度導入前の準備】

1. 事業者より従業員に対し、ストレスチェック制度の目的や事業場のメンタルヘルスの現状を説明するなど、制度導入の方針を表明すること。
2. 衛生委員会（安全衛生委員会）でストレスチェック制度の実施方法等を審議し、決定をすること。
3. 衛生委員会（安全衛生委員会）で審議し、決定した内容を規程として明文化し従業員に説明し理解を求めること。
4. 実施体制、役割分担を明確にすること。

中央労働災害防止協会 ストレスチェック相談室

○ リスクアセスメントの実践で適切な化学物質管理を

化学物質による職業性疾病は溶剤、薬品等による薬傷・やけど等が多く、特別規則で規制されていない化学物質を原因とする労働災害の発生の新たな問題をも生じています。

こうした現状を踏まえ、昨年公布された改正労働安全衛生法では、一定の危険・有害な化学物質に対するリスクアセスメントの実施による化学物質管理を推進し、業務上疾病の発生を未然に防止する仕組みを充実強化させることとしています。

具体的には、安全データシート（SDS）の交付義務対象である 640 物質について、リスクアセスメント（危険性または有害性の調査）の実施が、製造または取り扱う全ての事業者には義務付けられました。

中災防では、平成 28 年 6 月 1 日の施行を前に、化学物質のリスクアセスメント、SDS の作成や読み方などに関する人材養成研修のほか、化学物質管理に関する技術サービス（リスクアセスメントからリスク低減措置の実施支援、SDS の作成等）を実施しています。

○ 中災防は「平成 27 年度 全国労働衛生週間特設ページ」を開設

中災防ホームページ <http://www.jisha.or.jp/>

中災防 全国労働衛生週間 で **検索** 

JISHA 中災防

（注）中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊 原 定 征（日本経済団体連合会 会長）

理事長：関 澤 秀 哲